Search: ((JP2003106474) OR (JP2003106474 S U) OR (JP9194797) OR (JP9194797 S Y) OR (JP11189753))/PN/XPN

2 / 3 Patent Number: JP9194797 A 19970729

(A) FLAME RETARDANT PHOTOPOLYMERIZABLE COMPOSITION AND FLAME RETARDANT ADHESIVE SHEET AND FLAME RETARDANT TACKY TAPE USING THE SAME

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a photopolymerizable composition having excellent shear strength, release strength and flame retardancy and obtain an adhesive tape and a tacky tape by using the composition. SOLUTION: This photopolymerizable composition is obtained by blending 100 pts.wt. monomer mixture containing 50-98wt.% 1-12C (meth)acrylic acid ester monomer (a), 50-2wt.% monomer having a polar group and copolymerizable with the monomer (a) and 0.01-1wt.% monomer copolymerizable with these monomers (a) and (b) and having >=2 unsaturated double bonds in the molecule with 0.01-5 pts.wt. photopolymerization initiator and 5-70 pts.wt. flame retardant such as ammonium polyphosphate.

COPYRIGHT: (C)1997,JPO

Inventor(s): (A) TONO MASAKI

AZUMA KENICHI IUCHI KENJI

Assignee(s): (A) SEKISUI CHEM CO LTD

Patent number/Stages

JP9194797 A 19970729 [JP09194797]

Stage: (A) Doc. laid open to publ. inspec.

Assignee(s): (A) SEKISUI CHEMICAL CO LTD

FamPat family Publication Number Kind Publication date

JP9194797 A 19970729

STG: Doc. laid open to publ. inspec. **AP:** 1996JP-0004802 19960116

Priority Details: JP480296 19960116

©Questel

Links

(19) 日本国特許庁(J.P)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-194797

(48) 公開日 平成 9 年 (1987) 7 月29日

工業株式会社内。

(51) In LCL ²	撒制尼号 广西整理器	月 PI	这 術表示 首 所
C 0 9 J 4/02	JBI.	COSI	4/02 J H I.
C 0 8 K 3/32		COSK	9/32
C 0 8 C 33/93	T_1TT,F	C 0 8 T. 3	3/06 0.11U
C 0 9 J 7/00	J1IT.	C09J	7/00 [1111.
	JHM		I HM
	書頭	医骨束 未断求 開水の	198数7 OI (全13页) 及終百に総く
(21) 出頭番号	特風平 8-4802	710 川東人	000002174 横水化学工業株式会社
(22) (19 9 i H	平成8年(1996) 1月16日		大阪府大阪市北区西天街2千月1番1号
		(72) 徐明者	声野 下掛
			大阪府工島部島本町百山2 1 積水化学
			(業株式会社内
		(72) 光明者	東資
			具序県尼崎市河西 6 - 8 - 6 - 積水化学工
			業株式会社内
		(72) 梨町者	医内 議治
			大阪府三島郡島本町百世2-1 様水化学

(54)【発明の名称】 蘇紫性光『合性和威物』それを用いた蘇紫性接着性シート及び蘇紫性結構テープ

(37)【爱物】

「思議」 ほれた ()断種交替制剤種交流が()強烈性を指 する完整で12対域制、それを用いた場合性デープ及び性 着性デーブを提供する。

【解決手段】 (入)ですらり、おの景景家が十〜 2の (メタ) アクリの酸スステのデブで (カ) 50〜の料理量がと、極性基を有し、モブツー(カ) と決重任可能なデブマー(カ) をび(カ) と共乗合り最であって目つかくらに今節れ工事接合をとも関係者をモブマー(カ) のこって青量ンスタイナるモブマー場合物 のの重量部に対し、(2) 光重や最近的の、の一つう重量部と、(カ) が(は解析で) モニウム等の解議剤をラッテの重量部配かして会る組成物。

はお許ら家の範囲と

[[27]]

【請求施士】 デルキルルの炭素数が、ペー2の(メータ)デクリル酸でステルモノアー(と)50ペラの電車のと、佐性型を有り、上つ(メタ)デクリの数エステルをファー(は)50ペラのモノマー(は)60ペラの電量であった。これらのモノマー(は)60%が大坂(も)と共乗合可能であってはつか。内に不動和工量結合を2個日本があるスマー(と)5、51ペニ単一型と合合性であるモノマー減や物(ム) 00章量部、定量合用結判り、61ペラ電車部及延載リ機能がンモニウムラペテの重量部からなることを特徴をする経済性光量合性組成物

【記念項21 記述項1記載のモイヤー混合物(A) 100 重量部、光真合開始が0、01~3 単一部、ポリ機能が2~3 0 重量部があたることを特徴とする部場性完重合作組成物(計画項91 計畫位上記載のモノフー浸作物(A) 0 0 重量部 光声合開機製の、01~5 重量部をあかなるでは構成が)に二つたる下記一根封(1)で表される際総合有化生物と登集設制物を必混合物(3)5~ 10 重量部が示念をことを特性とする起機性発生产生組成物。

(大主、)(1)、)(1)、 10)(は、心素流)(1) 炭素なご…ご 6のとドロキシルアルキル地、ジヒドロキシルアルキル 明文は、景景東京 > (6の)とドロキシルアリール地方! くはジヒドウキシルアリールボを示す)

【記念項41】 記述項1記載のキイベー線件物(A)1000重要、先型合同所配じ、じ1~「重量部、域化件物の~500重率をおびに残職要生更浴び~150重率からなることを特費とする能熱性が重合性組成特

「清水項3】 ・譲水項1割載のモノマー減合物(^)) ①①言葉部 - 光章合制格組の、の1 ~3章言部、ハロデ)系針域組り~30章量部のしくは該ハロデン系針域組 5~30章量部及が三数化アンチモン2 ~25章言部から らなることを特徴とする推想性発達合性組織物

【記念項本】 原轄シェト上に、記求項1、 1、3、4 またから記代の起機性先進性性組成物を塗っし、該理機 作業直合性非成物に完全期間にてお成れることを特徴と でる動態性等で性シート。

【清水頂7】 - 濃水球の創載の動物性接着性が一トのク なくわら一面に料え剤層を形成してなることを制酸とす。 え難機能能は ゲーブン

【光明/紹祥花识明】

[000]

【発明の属する。契前が再】本で制ま、強成性先担合性組 認句、それを用いた軽減性食者性は本一を含ぎ推製性精養 モーンに関する。

1000031

【資味の技術】企業より、ボリエキレン系会的体、クロロブレン系発泡体、ウレクン系発泡体、イクリル系発泡体等の各種発泡体をデーブは材とし、その可面はイクリル系料を利用を設けてなる。いかゆる画面料を発起体デーフは、技量削力を、と異なり、拡着作業に除りて溶剤の推散が含く、人拡着力を現め8mので作業場合にも扱わており、自動車を買り出演します。最初の代替として接合作品に批けられている。

【〇〇〇3】とかしたから、「記画下結合性発泡体等一 では、その基材である発泡体自体の検討的別級が低いため、薬師別級、側筒別級等の品質利相で評価される接合 節度か、沿泡体基内の凝集破掃激力で決定されるため、 より高い致精強度、するためより高い必替致力が得られないという問題もがあった。

【1000元十九に最近では、「記方形が野り越いで計断性が強く必められることは少なくないが、完重合によって得られる研修性が何をされた可面性者に一つならのところ見当からない。新述性を付与する方法として、一般的にいいデンを内心下版を認知する方法が採用されている。この方法によって、超微性を付与することができるが、加工時や製造時に煙を発生することがあり、湿の引節を別途必要とするため、ハングン合向化学技を使用しないプリハロダン化合物のよる発熱性性学が強く製されている。

[0005]

【完明が確然しようとする課題】本完明は、「記道水技術の問題」を確請し、侵れた剪断点度や創造点度を自じ、上の起場性にも関いた難場性先望合性組織が、それを用いた起場性の著性が、下次が理想性指着が、「2を提供することを目的とする。

100001

『無菌を解決するための「段】維米球1記載の合同の対 透性光素で作用成物は、「アルキルルの炭素素のチャ 2の(メク)アクリル酸セステルモノマー(と)ワウト ゆる重量でと、衝性ルタもし、日の(メタ)アクリル酸 エステルモブマー(は)と共正年可能会テブマー(5) ラリト1 重量差と、モブマー(は)及び一次は(し)と 共連合可能であって土の気で内に不適和。重結年を3個 以上方があモブマー(に)り、01~1単一層とを合析 かあモブマー成合物(3)100単一部、常単合用始制 り、01~5 重量部及びボリ類的アンモニウム3~70 電量部からなること」の場合とよるのである。 【①②①7】計画が2~5記点の発明の郵偿性光電合作 計画物は、「計画が「記点の発明に続いて、5円構成と シモニウムラ~70重量部と赤鱗ツ~30里量部とを含有す よっの、参与り燐酸ケンテにウムと下記、供表で数される姿式含有化合物と分析像生物を分配を持ているは含物で10~3~70単一部を含有するもの、動類化合物3~30単一部を挑隊使作出約2~13車量部とを含有するもの、動いロサン系群機到3~50重量部、区域該へのデン系幹域利5~50重量部と下酸化ソンチモン2~29重量部とを含有するもの、の計の~のの何れから採用すること。を持備とするものである。

[8000]

1021

【00009】 股式(1)かおいて、3 、10 、10 は、水素原子、炭素数1 ~ 6のヒドロキシルアルキル は、水素原子、炭素数1 ~ 6のヒドロキシルアルキル は、ジヒドロキシルアリールは61. くはジヒドロキシルアリー ル上を示す

【①:10】計2項を記載の1階月の飛幣性以着性シートは、「別離シート上に、計2項1、②、3、4つれは、可能の計場作光直合性非成物を改工し、設計場件完革合作組成物が少を収算して形成があるとする特徴とするものである。

【①○十一】請求願予記録の発見の研修性準治を一定 は、「請求項の記録の結構性接合性3 ートベツなくとも 「歯に結構剤圏を形成して姿ること」を特徴とするもの である。

 タンプクリレート、エードクギルイスやシアクリレート、イファエル(メタシアクリレート、ラウリル(メタシアクリレート、タンボルエルイスやシアクリレート等が終げられ、これらはにおおび手動の用いられてもかく。

【100111】上中町妖性宗国合性組成物の社で性と断定性とのバランス等を勘索すると、通常、水モボリマーのガラス動作活度(エロ)が、300以下の(メタ)アンリル製エステルを主式分とし、それにメイル(メタ)アクリルート等の個数アルキルボタをする(メタ)アクリル値にステルを組合する。用い売のお好なした。

【1001~】上記(ベタ)アクリル酸のスケルチィマー(カナは、モノマー混合物(ハ)中からのトラル重量での無理で、の無理で全有される。後モノマー(カ)の全有量が、3の重量に無理の場合には、得られるモノマー混合物(A)の計算のなる場合には、得られるそうでは、企業を関す。今の、企業を超える場合には、得られるをディマー混合物(ハ)の起源力が高くなり、接着力が不干がとなる。今た、中の重量がを超える場合には、得られるをディマー混合物(ハ)の起源力が減らである。の動物になり、変動電度がイトかとなる。

【10015】201、モノマー(1)としては、特殊基を有し、目の上記(メク)アクリル酸セスをかモノマー(a)と共業で可能なものが用いられる。このようなモノマー(b)としては、(メタ)アクリル酸、マレイン酸、フマの酸、イタのン酸等のカルギャンの基合有モノマ・もしくはその無水物:(メタ)アクリルでは、シストでは、(メタ)アクリルでは、シストルでは、アミノエチル(メク)アクリレート、ジエチルでミノブのでは、シストルでは、メク)アクリンート、シスチルアミノエチルでメクリンでは、シストルでミノブのでは、シェチル(メク)アクリンート、シスチルアミノブのではアクリルでは、アクリンート、シスチルアミノブのでいてクリル、ト、フェンドルキシブモルアクリル、ト、フェンドルキシブモルアクリレート、ジンが可能に使用される。

【2017】このモノマー(5)は、モノフー混合権 (8)中に1~50両量への輸出で全有され、好ましく は20~30両量がの輸出で含有される。モノマー

(15)の全有量が、「電量米未行の場合(以は、實験性)に 電子性針式物を用いて得られる枠を作り一下度には指言 デープの枠を内が下、分となり、うり電量のを超える場合には、得られる接着性シェト表記の結着シェアの前時 強度が不一分となる。

【1001米】次にデノマー(で)とりでは、上記モノマー(で)及び(わ)と共真合可能であって、日つかてりかく前の第五工単結合を目集以入着するものがしいられるこのようなモノマー(で)としては、ヘキサングリコール 31(メタ)アクリレート、(ボリンコチレンブリコール

ジィスタ)アクリレート、(ボリ)アロビン)アリュールジ(メク)アクリレート、ステベンデルプリュールジ(メク)アクリレート、ベンタエリトリトールジ(メク)アクリレート、ドフィナル、ルンディントリメタクリンート、アリル(メタ)アクリレート、ジニムベンデッの他、ご官能の工ポまりアクリレート、ボリエステムアとリレート、ウレッシアクリレート等が発達に使用される。

【①○19】「記古ノマー(3)は、モアマーは予覧 (A)中に①、○1~「電車品の範囲で含有される。 筒、本キサンジオールシアクリン・下やジゴエルペンゼンのような低分で量のモブマーを用いる場合には、モブマー現合物(3)中に①、○2~①、○8両量光の輸出で含者されることが好まして、ポリアロビンングリコールジアクリレートやウレアンアとリレートのような高分子量のモブマーを用いる場合には、モブマー混合物(A)中に①、2~○、8重量での範囲で含れるこ

【① 0.7 0.1 テノマ・混合物(A)中のテノマー(セ) 力含有量が、①、① 1 重量差末行力場合には、そられる 接着性シートや性着性が、アの概象力が不足すると共に ギクリーが作がつ届し、1 重量大を超える場合には、数 集力が高くをう過ぎ、1 1元列制 截度が低上れる。

とが好ましな。

【①②② 】本発明の解析性光電合作制度以に使用され 光電や最短別としては、例えば、1ー(2ーヒドロキン エトキ3)フェニル(2ーヒドロキ3ー2ープロビル) ケトンボ・ルービドロキシーは、カロ・ジスモループロ ケトンボ・ルービドロキシーは、カロ・ジスモループロ トコ・アンエチバディキー建設。カロキュア117 ③】、ストキシアセトファア)、②、ビージストキシ ② ファニルアナトンテアン、のパガイギー練製、イルガキュアのワー、、2ーヒドロキシー2ーシグロペキンルではトフェアンドがパガイギー神製、イルガキュアのオーナではトフェアン系にベン3アンスチルクタール系、その地へログン化ケトン、アシルキスプキンド、アシルホスプキンド、アシルホスプキンド、アシルホスプキンド、アシルホスプキナートクとを挙げることができる。

【0023】「記光真音開始がは、モノヤー御合物

(A) 100単一語の対して、0、01~3単単部の転列では用され、好ましくは、0、05~3重量部の輸出である。定重合開始網の書有量が 0、0、車量部未行の場合には、電子反応が管行し触いから、 分が取代率が行られず、5重量部を超える場合には、9からら発生量が各くなって共正平台の理合度が高くならない。

【①1093】上述のモノマ・混合物(八)と光重合原始 名称でいては、譲水項1~3で記載の合用と共通するものであり、以下と述べる計解が2ついては、消水項1~ のであり、以下と述べる計解が2ついては、消水項1~ ので記載の金甲と於いて各つ円むる成分がご用され、各 経済性光声合質制成物に係る発見が制設性にあれてい *-*

【① 0.2・上記求典 トラに記其の発明に対いて、群僚 乳港には解析剤中の一度分として使用するポリ構設でン デニウムとしては、重合度が200~1000のものが 好なして、更に表面がメジミンプホルスプルデニを開始 で被覆された場合地性の権力制であって目つ水の資溶性 のものを1つのことが解放しい

【10023】 譲収項目をび合わ載の会別に於れるのり機能アンモニウムは、モアマー浸予物(A) 00章量部に対して、5×70章量部の範囲では用され、遅ましくは、10×40章量部、30万ましくは十5×30章目記憶みる。ボリば酸アンモニウムの含有量が、上卫量額未行の場合には、十分分配数性がぞうにず、701重量額を達える場合には、得られる計熱性常重合性制度物の完透過率が小さくなり、重合反応の速度が首じて低、をある

【〇〇26十記求項2記基の発見にできて、郵便組としては用するポリ準度アンモニウム。例の成分である赤橋としては、市販の6のが採用可能であるが、副標準、以級上の安全性(代望等による自然発来)等の点がら赤橋程子の表面は使品は、ティングを強したらのがでよしい。人、京幅のモノマー銀合核(A)10日重量部に付して、2~30重量部の転用では用される。赤線の合作量が、2両量部を超える場合には、ほられる郵便工業宣合性制成内の定済を必が小さくなり、重合反正の無法が発しく代下する。

【1000分】記述項3記報の適用に於いて、推察制としては、上述のより解談がよるようのの他は、前述の一般 人(1)であるたる登載合有化性核及び全屬酸化物の3 仮分泌からなる後合物(B)がは用される

【3028~2の一般大(1)で表される貴基全有化合。 製力しては、圏域ボイブシアスル値、モノ(ヒドウキシ) メッル ディブンアスレート ピスゴミドロキミスチルデ イソシアメレート、トリス(ヒドロキシメデル)イソン プスレート、モア(ジピドイキシスチルにイヤシアタン) >、ビス(ジヒドロキシメチルトイソシアタン・ト)。 トリス (ジビド アドシスチル) イヤシアタン ニト、デス (さっせき はないエグルトインシアメレート、ガス(き 3.下さキシエチル)イソシアメレート、トリス(2) 世界で各シェデルテイプシアスシート トリスマー、2 ージヒドロキシエギル;イツミアメレート、トリスでき ーと下わさる プロビルナイツングメレート、トリス・ (2) すージニキルキシアコピルトイソシアタン・ト。 下リス (エービドルキシブモル) イツシアスレベト。と リスキャ、4 らじさいやらブチル) イソシアスレ ト、トリス(8)ヒドロキシオとやたナイソシアメレー 下、下げぬ (4) しょうせきシンミスカナイグシアダレー 下、下げぬ(き、1)ジントロキシンスのかにイソシア。 メンート、トリス(2.3ー3でドロ特3フェニル)イ

ソシアスレート等が実活られ、これらは単独で使用されてもよく、「種類」「が作用されておよい」これらの中で お、「気に針数性に優れているトリス(2ーと下げき)で ナル)イソシアスレートが推奨される。

【00029】以、上記金書設であらりては、数化サイネシウム、熱化アルミニウム、酸化チタン、熱化コバルト、軽化パナジウム、酸化ドロム、酸化ホンガナ、酸化鉄、酸化ニックル、酸化甲醛等が作用られ、一種の食品で複数の準度化製を生するものはどれを用いてもよい。これもの内、特に工能化チタンが発達である。

【008 】 計画が多型部の発見に於いて、3成分系の 触機制からなる混合的(1)は、モノヤー混合物(A) 100重量部に対して、5~70重量部の範囲で使用を 出してはしては、10~50重量部、近1可ましては2 0~10両量部である。「記述合物(B)の含有一が、 り単一部へ満の場合には「分の管機性が得られず、70 重量部を超える場合には、得られる研究性に重合性組載 物の定義が革がいるくなり、重小反応の速度が考しては 下する。

【ロコメン】記憶理コ記68の形用256いで、触機剤として、燥化生物と熱暖無性用浴とを併用する。

【①じゅぎ】上記幅生合物としては、トリフルにのホスティト、オクサルギニテムルのスフェート、トリオとサルのスティート、トリオとサルのステル美・爆撃すらりつん、構験カリウム、爆撃する。本語では、実際ではと二つ人、大阪により体験では高度の水利物、爆撃するモニウム、ボリ爆撃アンテにつる、エチレンドランの爆酸をしてンチェアもしてはアランをしたカーンでは、バスティンオカジギアルギンの外の順、のスフィンは、ボスフィンオカジギアルギンの外の順、のスフィンは、ボスフィンオカジギが、エーブチルのたのシーフ。エルボスボン解、メラミンを相ボリ燐酸アンモニウム、、淡水ギンが学洋られ、これには単独で用いられてもよく、「個以上が併用されてもよい。

【①じゅ4】上記輯化合物の中で、特にボリ基的アンチェウムは、取扱いが容易できず、優加た理想性が得ぶれるので好なしい。尚、キリ燐的アンチにウムとしては、重合度が200~1000であるものが好まして、更加表面がメラミナーホルムでもデント機能で被響された場合が作れればであって日つ水の黄疹性のものをしいることが好ましたのは、前述の計算項目~9に記載の発明

(III)はそれは構製アンモニウムの場合と同じである。

【〇039】土電製、水利集館としては、従来協知のら 2005条用可能であり、例えば、下紙の製厂状プラファイト、発分解イジファイト、キャシュグラファイト等、特 水状力ものを、混合酸、硝酸、セレン酸等の無機酸と、 結硝酸、過程素酸、過程素酸は、虚マンガン酸塩、重平 中ム酸温、過程化水素等の種酸性原とで更無し、ゲラファイトが開発合物を作成させたものであり、炭素の所収 精資を維持したままの結晶化合物である。

【〇〇86】又「土部底処理されてはられる製造批判結が、実にアンモニア、同力が関係の数字をシ、アルカリで 異化合物、アルカリ上類金属化性物等の中和処理して使用するのが好なした。数路時数低額でもンとしては、何又低、モノメチルアをデ、ジスチルアをデ、トリノやルアをシ、エキルアをシ、アロカリを取ら合物をジアルカリ土動では行い物としては、カリウム、ナトリの人、カルシウム・バリウム、アイシウム等のではの、中職化物、関係時、関係時一直接底原業が挙げられる。

【100ヵヶ】上記。延続性医療の股票した際の体制股票 中心、小さくなっと一分な難機性が得られないら、誘致 股票主更学を2000に以上に含20分裂した際の体制股票 中が100倍以上のものを使用するのが存まして、かか る体型緊張中を持つは動か当かな、分しの次のご顧をは 入で報度することにより確認である。

【○098】即ら、内容積が100%りリットかの自合 製の排環に185リットがの製造の相集端を入れ、その 800の以上に加速した電気炉に投入する。投入後、3 の料整返してから、料理を取りりに定置になる信数冷 する。扩発により段張した熱酸緩性最適が、計場的の容 積を完全に満たす量以上に安っているかさかのより容易 に確認できる。

【○098】熱燃の相関的の移譲は、細かくなると熟ま (2度が小さくなって一分を維持性が得られず、大きくな えと分散性が無く、得られるシートやデーブのが生が映 下する為、50~9000ドッシェのものを用いるのが好 ましい

【2042】請求項本記載の電用に於いて、韓化合物と 純多版性は結との配合部合は、卓量出に1:9~9:1 の管理では14名のが解放しい。配合制格がこの管理が も外れると、實験性について、特色で相と熱能態生異能 とをそれぞれ中継では出した場合ともよりそが更くなる 会である。

【1004年1日記水明本記載の20月に於いて、推薦的の一般分である韓化合物の、モイマ、混合物(八)1000 量常に対する含有量の、エトゥに重重部の範囲で使用を 約、だかしては、10~400単一部、より好かしては1 5~30両量部である、操化合物の全有量が、3両量部 末端の場合には、十分で能数性が得られず、3つ両量部 多ばえる場合には、得られる解像性定動合性組織物の定 選挙立が小さくたり、重合反よれ来級が舞しく代下す。 る

【①○十2】又、郵嫁到のも今一つの式分である熱脚状 生更学の、モノヤー混合物(A)1000重量部に対する 含有量は、1~15回量部の範囲や無用され、好なしく は、3~10単一部、より好きしくは3~10単一部で ある。純多報性問題の含有一が、2単一部へ満の場合に は、予定状態熱性が得られず、15単一部を超える場合 には、得られる解析性に動います。 くなり、青台反応の原理が帯しく低下する。

【① 0 年 9 】 請求願う記録の発見に於いて、解議組としては、ハロケン系推禁組、米に誘わいだと系施規制と「 酸化アンチモンとを任用する

【① 0 1 1.1 十記のログ)以前數字としては、ハロイン 化芳醇展系、ハロイン化的規模、ハログ)化芳醇展系、ハログ)作用環境等が全体られ、性が強烈性の観点から いきば、プロスを育事が十分制度 の化合物を選択して 用いるのが近ました。このようちいログン系純素組としては、デカブロモジウェニキルドキサイド、ハキサブロモバンゼン、トリス(1、3 ジフロモブロビル)イグ シアスレート、ファンビス(エービドルキシー3、コンプロテファニの1 フロン 2 英数ある。

【①3.15】請求項3回數の預用に於いて、強熱利として、成い心難熱利の。成分としてハロゲンで難熱利をに 用する場合の、在プマー接合物(五)。①3章量部に対する無合の、在プマー接合物(五)。00章量部に対する無合。近点上くは、一〇~・〇章量部、より節ましくは上5~30里量報である。ハログン系配換利力含有量が、50里量報・満の場合には、十分公理機性が得ぶれず、50里量報を超える場合には、得られる理想性が得ぶれず、50里量報を超える場合には、得られる理想性が得ぶれず。50里量報を超える場合には、得られる理想と発生を受けます。

【①○十6】請求願う起談の発明に於いて、ハロデン系 経域劉と三駿化アンチモンとをお出する場合の、三郎化 アンチモンの、モディー浸合物(A) ①○重量部に付 する含有量は、スペント重量部の範囲で使用される一合 有量が3回量部未満の場合には、十分会理機性が得示れ ま、スカロ量部を超える場合には、初られる触域性発達 合作組成物の光透過率が小さくなり、重合し応の速度が 常しく供下する。

【①のオラ】「ジン諸球筋」トラ記念の各発制の資料性 光素で料理成制には、重要性を有しさせるかめに、更に お話でエループロピイン話でエル等の、①で版上の下す を有するモイマーを必要に応じて配合してもよい。

【①じゅれ】の東に、店舗付り板船を配合することもできる。具体側を係げると、ロジン系機能、受生ロジン系 関格、そんべに高機能、そんベンフェアーの系機能、U りをぎられる石油機能、クロマン関格、或にはこれら標 出の心臓病解が中におれ、これらは単独では用されても よく、2種以上が作用されてもよい。但し、一記のでは 1の丁さを育するモノマーや結合社会機関を組成物には、 合して素かする場合には、素合選択が低下したり、分子 量が低下したりする場合があるので、かかる場合には、 モノマー混合物(A)のモノマー(b)の配合量を適宜 調整することが変にした。

【100193十四連維移が傾向、組成物を完革合して得られる共真合体の分(量を制能するための)いられる 何えば、メルカフト化合物が特まして、具体何を全所な と、エードデジルメルカブウン(ドデカンテオールとも いう)、モードデミルメルカブウン等がある。これらの 連覧移動剤は、モディー場合物(A)上のの電量部に付 して、0、01~0、1重量部が範囲の用いることがで さる。

【10050】 漁水項1~5回動の発用の背熱性常重合性 組成物を出襲するには、上述のモノマー混合物(人)、 光真合開始が、強熱剤を延その毛の添加がる、高度に質って均一に残挫しながら場合すればしい。

【〇〇ラー】次に、諸求項の記載の発制の針域相談を相当一下についてがなる。この3一下は、いたゆるデーブ 基材を必ずりが必要とりない。単は、剥離性が見消された別能が下下、即ち、素者に別能処理を施りた試、布帛、成の意思リステンンをレックした。下(FE)等の合成割的契約に一下下が、主達の持ち項1~5分散の合助の数熱性光質合作組成物を発生し、設定するようが該係以を光電合することにより得られるものである。割削3一下は、細質はそのま意製品の一部として機管けしから発し使用に降して控え相等一下から剥削される。

【100ヵ2】この機然性以着性シートを認定するには、まず、可期の起燃性以着性シートの表面が当常になるたうに、組まれを指記するまを中、特に強機剤(ロ)が、モノマー混合物(ハ)及び光重合併発剤(ル)でに防い分散されるように、調果済みの誘導成物を、見に十分に概率・増制してそので利益性を由与する、次に、この組織物を制能シート(に所定の限みになるようには、した後、その空子下を光照別すればよい。空子の手状としては公知の技術が用いられる。

【100ヵ8】この理想性以着性ションは、このようにして、0000mm - mmの範囲の厚みのものに形能すると終できる、単本が1000mmに下のデーアを基盤する場合には、粘度が1000mmの中度であり、チキットロジー性を示するキットロビックインジックス(T1)値が上、写程度の組成物を用いて使じすることにより得られるが、みみが、000mmを超さるデープを製造する場合に対。組成物を更に異精度にすることが好るしい。

【100ヵ年】上記推製性光型合性組動物を具制度にする 手機としては、アクリルガイ、にトリルガイ、スモレン イソブルナースキンナブロッと(米18)等のジアロ ッとゴムスはトリアロッとゴム等の数(学性エラストマー、ボリスキのブラとリンート(日間知ら)、ボリスチレンチ レン(コミコ)等の熱可熱性機能含を指揮してもよい り、平場粒子径が5ヵm以下のシリカ粒子、プリミザ粒 子でを針式物に場合してもしい

【00055】上記録加門の方、具據物を添加する場合には、5002年(次担子まで分散することができるという点から、表面に流水化処理が強されている粒子を用いることが好ましい。又、高粘度にする穴の他の方法としては、上は90ような添加物を加えず、後途からように、組成物の「部を子の部分事合する大震が含る

【①②うら】この部分重合は、モノフー(さ)を添加する。別前に行ってミッロデルを成との「具なければれられない。部分的にミクロデルが中広しか場合には、第一時に入び等の発生の原因となり、長いので注意を表する。部分理合されるモノマー 星は、至モノマー混合物(ム)のこ、ラトカの重量での範囲にする必要がある。部分直合されるモノマーがこ、ラ重量で未満の場合がは、必要な社會を得ることができず、又もの直量信を超える場合では、後のれる社伝的の判例が言くたの多数での上が内部になる場合がある。

(00057) 上記のようにして利許3 ート上に使じたが 施設性先望合性組織等に先を頂射するには、以下に示す。 要項で行う。

【①じっれ】程度対応は、光改長400mm以下に発光 分布を着するランプ議が出いられる、このようなラナだ 類としては、低圧水線を、主圧小線灯、高圧水線灯、沿 高下水線灯、ケミカルランブ、ブラックライトランプで マイクロウェーブは風水線灯、メタルバライドランプで が挙げられる。これらの中で、テミカルランプは定常で 開始剤や活性改長ではの土を関本よく発光し、紅式核 の生理合同所利用やの成分がこの試長に減れ光をきまり 環収しないたか、紅式物の内部進光が発過し、高厚膜の シートを基とすることができる。

【00559】十記ランツ部の光風射癌度は、得られるポリテーの声音接を存在する因子であり、目的製品の料的。 例に計算制御される。例えば、選挙用いられるではトラミノンボを有する最終型の定義で用始組織では用した場合には、その光分解に有効な気景領域(光重全関語制によって異々るか、通常36~420mmの気長領域)の光が展射され、その光風射激力の1、1~100m以どでで、の管理であることが好きしい。

【00001 請求項も記載の発用に整ける第項合は、空気中の酵素及が消成物に整確している職業によって反応が断している。 が断すされる。このため、定動即は酵素が作書を受けないような手法を与いて実施されるのが好ましい。のかる子法としては、何えば表面を別離処理したけしてや水リート・ションネルスチンン等の適用フィンムで、塗しされた地震性光重合性組織物を高い、この経明フィルムを介して放料成物へ第を原則する方法がある。

【りゅうご】その他の手法としては、貴素ガス、炭酸ガス等のような不許性ガスで軽素を置機したイナートデーンの一で完整条件の概念を与して外部より光照射して反応

させる方法もある。イナートソーンの中で反点がせる方法は於いては、移針式制の概化率が多り、チ間は「たたるよう」)がに完重合を完結させるからには、このが原見 囲気の形が状態は5000mmに対すであることが好る して、より好なしての500mmにはずである。

【1006日】加速に完重合反応が進行する場合がは、直合的により、改工される製造シートや、カバーに制備する。 トラの開始体権し、得られるシートやテーバにスジ等が発生する場合がある。このようたスジの発生は、光カットフィルターによりランプからの特別繁度利益したり、 吸引面の反対側の作用を指動板と接触させて治動することにより限りたらが可能である。

【1006名】記水項を記載の適用や起燃性技管性が下れ、このように、制能シート十四学工された計場作業卓合性非成物を完重合性より現化さらることにより得られる。この完革合によって契格された計場性様等性シートのガラス収料を興(丁ま)からので以下である場合には、この特情体がもそそ枠着性シートは、枠合作業時によってや一寸で僅かた加熱するがはで設着力を完建する。必要型(「ホットスの下型)の起場性設管性が下上と会る。

【このボニ】米、発標性反着性シートの下分が2000以上である場合には、含治で活着性のあるシートが得られる。影性気治底が00年以下となるような多場の状場所受性を重視する場合には、丁899等以下とある。今に該定するのが良い、新標性性着性シートの接合が裏の面上は、重合によって待られる設定利用の丁8によって、針場利力配件を調整することによっても可能である。

【10066年で用する枯点的からットノルト型もしては 光直音型の場合には、養材となる土品強烈性機力性を一 デ上に直径等では、狭層することができる。又同用する 粘高剤が、浄剤型もしては水分数型の場合には、剥離シ 一ト。に該粘高剤を含すし、砂燥して粘着剤間を作成 し、その後、基材と変る上型性機性接着性シート上に、 該具着発層を可導・積置する方法が用いられる。

【100mm】は、転写法によるず、重該溶剤型米は水分 数四の指導が各等工すると、溶剤やおおが発酵性養者性 シート中の試験し、それを製焼する外には時間を要する 場合がある。文、用いる社等が光度含単の場合には、 当然、第二後に再接るの表面に発明する行う必要があ λ,

【①②○○○ 1 上記制品剤の地域や配合は、被着体にいた で変更するのが呼ばせい。例えば、液晶体ががリモイン ンやボリアコピンンのようなボリオレフィン系の場合に は、特種付与例話を20~3ヵ旦量%配合したアクリル 系統分類に以大物ゴム系統分類を用いるのが好きせい 区、被差体が観音場件により系統出の場合には、物件成 分として、N どこんにロリドン、N ビニルのだロラ クタム、アクリロイルモル・リン等を発育し、目のカル ボキシルルを含すしたいアクリル系制品組を使用する と、耐熱を比性に係れた研究性料着性テープを得ること か出来る。

【00000】(作用)本で月の延続性発生产生組成核、それを用いた計場性様等性シート及び発送性治療デーが は、終組成物が、特定のアドリの系のモノマー混合物が らなるモノマー混合物(A)、完重合開始制成が特定の 経域組まりむるので、得られる控着性シートを粘着デー プは、犯罪事に否め、目の無限無限を剥削順で示され る場合の無いがは郵帳事に関連などものとなる。

【① ① 7 ② 】その世一は、必ずしも明らかではないが、 特定組成の7 2 リル系統所体中に、特定の経営組を配合 することにより、両古2川に効果により、経営性のみな らず発性物が十昇し、水断電電が向上れるものと考えら れる

1007 1

「発見に実施の形態」以下、本発明の実施の形態につい で詳細に説明する。

【000ヶ2】(東雄河1)冷する、海皮計及医療体器を構えれるバッグの「シスゴに、シーエチルへららのアクリル、下り00g、アクリの酸100g、光理合同統制として2。比ドロペジ、2・シャロへキシのアセキンが、ファ(商品名:イルガキック1841)の、3g、ポリ燐酸インモニウム(ヘキスト可製)200g、赤蟒(群化学工業企製、商品名:ノーバレット120)りのすら付い方、場一に分散する名表样・場合した後、基帯ガスをパージするのとにより、発育酸がを除ました。

【①ロケス】次に、このユラスの中の組織等にブラック ウィトランスを用いて場合議を展射したところ、組織等 の需度が上昇をあとっ時に社交が高くなった。組成物の 温度が5年で早したところで実展財を上めた。得られた 維度物を取す一部分定量合理報組成製工という。この部 分光量合理解組成製の概化率は十十二、そして程度は 2300であるであった。

【 0 0 7 4 】 更に、このに分光理合語性組動物は、この () 2 3 14、 4 37 7 9 月 4 ~ 0 1 5 3 を配合して記事項。 - (記載の発明の組織的を複約

【ののでき】がた、同1の未かまらの、33万mの与みのドイエがらなる時間が一ト1点の時間更無面上が、直合終了性の理各が1、0±0、15mmとなるようは1の 針板均多のようで針式相信2多形成り、更短問題の制能 3 ートトも多点がで、その側離処理下が針式製料2位枠 するようにしてカバーした。

【〇〇早ら上次いで、ケミカルランプを用いて、このカットに用いた別経い、トニし上の原謝強力がつける。これを行るようにシンプ書きを調整し、お分間原射して、組成物語とを完重合して、制御キート1つ、15 相が接着が削り2分を行する確求項に記載の合りの発熱性著者性シート1つを得た、発熱性著者性シート1つの接等が削り2分の終金モノマーはり、十年であり、ゲル分享は86年であった。

【〇〇77】得られた都然生接合性シート 〇夕川ハ て、勢断致は、1別離筋度及び健成性の他在男型評価を 行い、その結果を表して求した。前、これらの別定を行 う場合には、カバーに用いた時間シート1点、1トを除 去して様々が知るとの各を用いた。

【100字8】以、十記的**抽色**度、平显游结应及5篇例件。 3.测定人产起作为法院次390分的36。

の蘇手点側

ド2に示すように、幅20mm では30mmの 配枠 着剤層ではの元面に、アジイマー表面処理した幅(5) m×長巻1000mm×厚巻(minのボリケーボを・下板 3の網線を辿り合わせ、フキ時間監理にて設置して設験 近とし、制設式線線を出いての開始度を測定した。荷、 引動速度は30mm 分、矢面は引動方面を示す。

②丁初曾施度。

ドラに示すように、幅20mm では70mmの 配枠 イ細胞2mの両面に、アライフー表下処理しか見からの の2mのアルを結4を辿り付け、2m時間立温にの装置 りて試験片とり、引張試験機を用いて13個態度を推定 した。内、引張性大学20mm 方、大利は乳酸菌等 など制御大同合示す

ሬንተህተ፣

【0078】(実施図2)イフフェルオとリレートララ Og、アクリの数100g、M どこのビわり下に400 は、ボリ燐酸アンデニウムも000gをディスパイで4時 間、1000~p-mで5樹木・混合り、枯寒念後休を得 た。これは、発揮各開始制(アルガル・アーエルイ)を り、3g、じのレメックサレートり、23gを加え、均 一切なる意が概律・混合した後、緊急ガスをバージする。 ことにより、紹布する耐器を除ってた、かくして得られ、 **を謂求功・記典の発見は趙成物を用いて、以下実施例:** と同様にして配燃性は着性が、下を得た後、失齢倒した。 同様な他に男型評価を行い、時の結果をありに示した。 【0080】(実施付3): スチルペキシルアクリン ードアのじょ、イソオクチルアとサレートとのじょ、ア クリル酸とりじょ、ポリ燐酸アンモニウムもりで、赤燐。 うじょをディスパーで30分倍、1000~っmで傷料! ・撮合し、精神は液体を得か、これに「アリルアクリン」

ートの、多多及野光章合品が強(イルガキュアのラー) の、多多を加え、場合になるまで関格・浸でした後、等 帯がスタバージよることにより、将作よる検索を除るた た。得かれた記念項「記載の電明の組成物を用いて、以 で実施例「自同様による地想性は着性シートをそれ後、 実施例」と同様による地想性は着性シートをそれ後、 実施例」と同様による作品である。その結果を表し に示した。

【のじ81】(実施例は)治力権、結底計及が無料器を備えたセパラブルフラスのは、2ーエデルへ時3ルアクリレートでのので、エーブデルアクリレートでのじる。
Nービニルビのリドントのじる。2ービドロ時3 エイルメタクリン・トンド、 下がカンデオーのには及び酢酸エチルりののでを住込み、逆がカス雰囲気でで返済するまで昇湿し、この分配を持した後、パンドルベルはかいドミスを本限エディ1100以び溶解した溶液を着下し、こ時間反応させた。次いで、トルエン・のじるを概括・表合して、端接 2000できるの転音組締織(つ)を得かし、野原はまり、原電量高であった。

【0082】この指着制格級(2)100点に、ポリ燐酸アンデニやム300点、示幅料の内皮がイソシアを下系硬化剤(17ポリウレタン社製、各誌名の2本「255円)社会を添加して主命規合した後、1920年間社会未がように、負型型とたPTTからなる制能シート上ではなても、足の4つ以前の制品型層等を必形式しか。次ので、可防に実施列上で得られか骨弱性特を担シート上のの制能3ート上の手限大力が一方の場合面に、得られた指着風層与まずが反動するようにポットシスタート側により転写して抖音利層を形成し、過度項が記載の過剰の理想性抖音が、アフリを得た。

【0083】図3か示さま方が、軟で塩化だいル提出板 いてくって100度=30、幅23mm 皮を100mm アルス5mm)の磁線は、実施到1で持られた幅20m mと5020mmの貨物料料をデーア20の側部シート 上に、上りを除っして「粘着乳煙反と下を切得し、もう っちの粘着制置フェデを、ボリカ・ボネートは3の温線 に辿り併せて80でで1週間決を化させた。このように して試験性を得しての試験性を用いて前期強度を測定し して試験性を得しての試験性を用いて前期強度を測定し か、少23年度は50mm、分、末年は少25方面を示す。 【008、】上記書館図、で待ちれた経済性粘着ゲーブ (1557)、上記典師別度及び実館図、内間報な質勝性の 地定乃全部値を行い、その結果を表しに対した。

【1008日】(比較列1)類数剤(の)を全く活動し会かったこと以外以実施がこと間核かして光点合性組成物を得た、このようかして得られた組成物の地形を収り、1つにあり、そして社会は4100ヶヶヶであった。得られの組成物を用いて、以下実施図して間様にして研究性格者性シートを供か、この研究性理者3ートについて、一記実施列上と同株の無関が選出して、一記実施列上と同株の無関が設定して、一記実施列上と同株の個別である。「10088】(比較列2)実施列11時のある10%。「10088】(比較列2)実施列11時のある10%。「10087」では、1008年のより、1008年のより、1008年のより、1008年のより、1008年のより、1008年のより、1008年のより、1008年のより、1008年のより、1008年のより、1008年のより、1008年のより、1008年の表別では、1008年のより、1008年の表別を2008年の表別では1008年のより、1008年の表別では1008年のより、1008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別では1008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年の表別を2008年を2008年の表別を2008年を2008年を2008年を2008年の表別を2008年を2008年の表別を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を2008年を

【1008ヶ】(比較可多)実施的1で得ぶれた起燃性技 着性が一下100代が可以、比較的1で得るわた強機性 接着生が一下を用い、精着制置とよる報圖よりからたた と以外は、実施例1と同様にして認断性定及が能燃性を 測定時全計でした。まち、対60元をようの、比較同じ で得られた接合する一下25の一方の設定では、較近度 化ビニル状間板らの精練を貼り合わけ、他方の控着面 に、がリカーボルー下板3の整練を貼り合わけで凝緩片 とした。集中が引張力向を示す。

【1008年】(比較例4)実施例1で得ぶれた配數性技術がシートを用いたことに対は、完飾がした可能のとも確認して批論をデーアといるは、前面がした可能になど強烈性を利定した。同じ、間に対した。同じ、下に示さまうに、間に到着の個別を指すると控え付シートでしての議画体に、収到時化ビニル状態接近表がおりカーがネート被3の各階級を貼りでかけて試験。無とした。美利の制度方向を示す。

[0089]

[381]

		テーザ の種類	剪削強度 (kgf/cm);	TR制能效度 (kgf/20mm 幅)	
 実	1	採着性	18.7	11.1	自動的
.だ. 始	2	读着 性;	19,6	11. 7	! 自治性
ene No	8	挟着性!	1.8 4	12 N	厂指性
P4 1	¢	但有性	1 U. U	-	广泊性
_ ·	J	維着性	J C. 5	Č. 8	易燃性
lt.	٤	据查性	路燃 剂制。	省で一プは得られた	(City to City
飲	ā	接着性	1 4		复燃性
. (8t -	4	· 粘着性	6. l		- 星燃性

【0090】(実施列5)能熱剤(2)として、ポリ森 験アンモニウム 008、容素を石化下物であるトリス (2)ヒドウキシェチル(イソシアメンート(利定約案 工業主製)を09を設定しば化チクン(ルギル型、石原産 業証製(209を用いたこと以外は、民難例1と可保に して、計長を利き配成の発明の組出物を得、見に計長を担い 記載の発用の推想性は著性シートを得た後、実難例1と 同様な、好質特度、主制質を定及び計熱性の制度、計価 を行い、その結果を設定の示した。

【①②9 】 (実施図6) 解析剤(②)として、ボリ情報アンモニウムラのタートリス(2=ヒドロ特)でイル・イソンアメンートラのタ及び「耐化チク)」②まを用いたことは多少、火産値グと可能にして、記事項3記代の恐事の組織与を得、更に記して、記事の発明の推察性が活性シートを得た後、火旋回1と可様な、制作節度、工制能程定及が発燃性の測定時代計画を行い、その結果を表さい示した。

【①の92】(実施到7)解析剤(ご)として、ポリ情報アンモニウム・008、トリス(2ーヒギウキシェデル)イソンアメレート200g、及び心臓化チタン308を用いたこと以外の、実験例3と同様にして、記求項の記載のたりの組織的を行、更知記求項の記載の起激性接着性シートを得た後、実験例1と同様々、専門資表、工制能感度及が動熱性の測定方式計画を行い、その結果

を表2の示した。

【①①99】(実施列8)紹介創浄液(D) 1 ○ 0 また、経済到了の主たしており、結構をアンモニの人。 写のま、トリス了2ーヒドのキシエチル)イソングタントへっては、一酸化モタンコョ及がイソシアネット系列化制(日本ボリウンクン社製、商品名の中全を、トラビ)4 まで液面にたこと以外で、失能体上に同様にして厚か、10 2 mの (位) を開きたります。 一方の様々面に、実施例 1 と 同様にして粘点が増を担めました。 同じくド・に示すような諸球単子記載の発明の資助性料をデーアを後、実施列けた同様が適り記載の発明の資助性料をデーアを後、実施列けた同様が適時に表及の資助性の測し、内で評価を行い、その結果を表フに示けた。

【100の本】(比較利力)結構利溶液(10)100円に、触機剤(0)として、キリ燐酸アンデにウム80g、トリス(10)として、キリ燐酸アンデにウム80g、トリス(10)として、キョウンエグル)イツをディートの同様的(日本ボリウンやンゴ製、商品合うロネートもうり回)はする影加しなっても、質勝利(2)が凝集的数を起こしたかめ、郵繁主接合性シートに得られなかった。質して、剪開酸以及砂塊製性の制定再全計値はできなかった。

[009-] [表2]

	テープ の種類	剪断领换 (kgf/cm²)	11刺酵系度 (kgE/20mm 檔)	難素性 (燃烧区分)
_ 5	操者性	18.6	10.4	自無性
寒 30 ¹⁻⁶ -	接着研	16. 6	11. 7	長期群
7	13.新科	19, 9	12.1	自治性
e a A	22番件	1.6 %		自治性
比較朝 5	指書付	非线作标	着チーフは得られ*	transis

【0096】(実施到り)解除剤(0)として、ボリ糖 数インモニウム 008、熱酸放作製等(日本化式性 製、ボ品色:0点608、509を用いたことが付け、 実施列1と同様にして、高度項土記がが適用の組成核を 得、更に請求項と記載の適用が起燃性料着性が一下を得 た後、初期程度、工業等整度及が強制体の測定方式出版 を行い、その結果を表明の示して、

【の097】(実施外10)前級計(い)として、ボリ 透破アンモニウム 508、熱心ឈ製車が8089月のた こと以外は、実施例2×同様による、請求は1記事の発 則の地域均多後、更短証券項も記載の発明の鈍機が指言 デープを得た後、前期預長、子別経済度次が強機性を明 定馬空影性を行い、その結果を表のに示した

【0098】(実施列11) 計級計(いうとして、 プルカポスポ) (株) (Mariat 看棋) 100回、鉄多紙棋 無難30回を用いたこと以外は、実施列3と同様のし で、諸求項1記典の発則の組成物を後、実に指求項の記 扱の発明の維持性指言ゲーブを得か後、類断領法、工利 等的展及が維持性を異なら管理化を行い、その結果を表 3に示した。

【〇098】(実施図1-2)和台県流級(D) - 00g (ロ、経域組)()としており機械インモニウムでもま、 ※必須性思端30g、を使用したことは外心、火砲倒生 と可様にして厚み40ヵ百つ和着地層を形式し、その 後、直もに実施列ので得られた接着性シートの一方の接着上に、実施列化と五様にして社ぞ和店を特別して同じていまれた。今後 イ団化に未かようの造場が近て記載の会刊の発源性活着性 デーブを得かば、熱断点度及が発送性を測定して評価を 行い、その結果を表すに示した。

【の10の】(比較関の)階を創御級(D)1008 は、触機剤(C)としており構設アンモニウムテのは、 3953無性思緒3の以及がイソシアを、下系硬化剤(L 4-ボリウレッ)味製、支配とコロネートL 5.5 F) 社会を 添加したところ、単級剤(C)が減臭流域を起こしただ め、強熱性機が作シートは構みれながった。使って、質 断無度及が軽くでの現場と呼ばればかった。

[010] [#3]

_		シープ の初期	特的発達 (kgf /c i ²)	□ 别解発度 (k¢1/20m 幅)	睡燃性 (機度区分)
ш	ä	接鲁性	17 4	10 1	月 消性
火	10	排押性	1 8. 2	1 1. 3	ウが性
	ш	投資性	17. 9	11.0	自治性
BC	12	計響性	9, 0		白着性
	호카 6	 华 着 性 	茅塘性指引	曹重一ンは役の付き	por o As

【の10日】(完成例13)計級計(い)として、デカプロモジン。これは40年の(甲型ラス結構)200 8、三岐化プンチモン(三国輸業計製)5089月ハたこと以外は、実施図 ス国協にして、諸本項を記載の発明の組成内を得、更足証本項も記載の発明の強地相接音、主体、下を得た後、剪り強度。 剥離競技及び連携性を制定乃至許値を行い、その計事を表すに示した

【0103】(又旋列14) 地熱剤(0)として、彩か プロモジン。これオキサイド 130gを用いたこと以外 は、実施列2と可能がして、構造項3記載の参明の構成 物をは、更に請求願ら記載の発明の研究性枠着性シート を決め後、興興加度、丁訓群点與及び難時間を測定力で 評価を行い、その編集を表した示しか

【0000年】(東雄河15)発標河(0)をして、がカラルモジックには本やナイドラには、「酸化アンチモンちりはを用いたこと以外は、東麓河3と同様にして、記載項3の動の発用の組成物を件、東に請求時に記載の金川の発別性著名性シートを得た後、制断結底、「東質電度をが背勢性を判定りまた。情を行い、その結果を表15

本した

【10103】(実施列13)枯れが溶液(つ)の強熱剤(0)としてデカブロモジフェニルドキサイド9003、三酸化アンチモン808分は用したこと。物は、実施列1と同様にして帰る・0以四の料着組織ラ3を形式し、その後、宣転に又難列13で得る場合が支替性・フォフカー力の技術面に、収施例4と同様にして特権組織っ当を積層して同じく区4に示すような話以収り記載の発明が背熱性化等性を一下を得た後、裏断電定及び詳熱性を制度時代割面を行い、その結果を表19元した。

【①106】(た核関子)結合創準級(D)1008 に、経過額(C)としてポリ規模でクモニウム。00 ま、水焼りのを及びイソングネートを取信額(日本ポリウンタン社説、商品を100年、トレー51()4点を添加したとした、起燃剤(こ)が凝集法数を起こしたため、 連盟主接着性シートの複名ようかった。第四度 定及び単級性の制度助金割値はできたかった。

 $l \circ 1 \circ 7 \rbrace$

[24]

		テップ の種類 :	郵酬競問 (kgf/cn ³⁾	「 でお庭 族医」 {kg1/20um 輔}	雅然性 (维烧区分)
	13	技術性	18.8	11.6	自治的
	14	特许加	19.8	11.9	自治性
_	Lξ	អត្ត មាន	19.7	12.0	自新性
l øl	10	砂塩性	10.3		ម <u>អូ</u> ជា
进設制 抗溢性		抹濫性	作者テープは得られなかった		

[0.108]

【形用の効果】

【①10:1 本会明の難熱性光点合性組成物、それを国いた能熱性物で性シートをが計場性計解性化等デーア 以、特定のアクリルでモノマー現合物と光点合併始重と 特定の研修研究を含有する研放物であり、この針式製を 用いて得られる枠を性シートや作者デーアは、発泡体等 の構構的頻度に対る器材からなるテーブに対象使用した いつけ、専門筋皮や乳軽筋皮を示される接着強力症がに 触機性に関わたものを得かれる。人、小配用の理像性技能力を 着性シート及び延退性出着テープを用いることにより、 能速の構造の字の核合作業を簡にに行うことができる 【図目の筆単な説明】

【PAL】 公発明の郵便作業責合相組成功を用いて得られ る郵便料提着性シートを示す模式が開閉である。

【PO2】本発明の研修主接合性シートの類解領法を測定 する方法を示す模式時間区である。

【図3】4発明の推想性整備性シェトの工具経筋皮を側

定する方法を示す模式断ず盈むさる。

【図4】 本剤 別の推製性光型合性組制物を用いて得ぶれる背域性性 ギテーアを示す機関曲によりある。

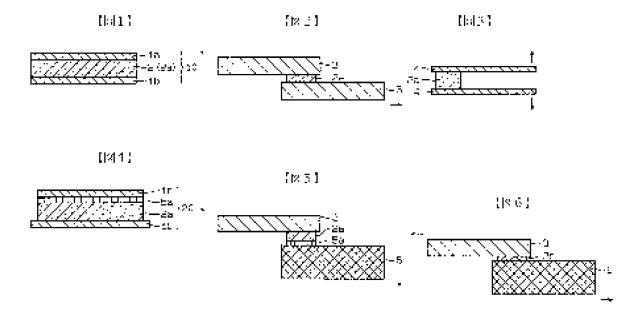
【1回り】木発用の他の単純作権行シートの労働権度を利 権権の方法を示す模式断主対である。

【[対6] 本発明の研修性性者で一定の興用別法を測定する方法を示け的判断下限である

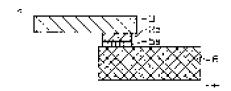
【例7】 本発明の研究性料着デーアの英冊別選を測定する方法を示す模式断す区である。

[对母本部明]

- 1 a. 1 b. 浪難込 下
- 2 基底物語
- 2a.背妖性様等性に一ち
- 2.6 郵像性控着性シート
- らったリカーがネート板
- 1、7年3倍。
- うは 粘着氷層
- 6 ・松貫塩化ビニル根脂状



1471



フルルトページの続き